

単元（題材）及び授業構想のポイント

学びの質を高めるための「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

各教科等の指導を通して、「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養が偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を進め、学びの質を高めていくことが大切です。

単元（題材）構想のポイント

- 学習指導要領の各教科等の目標及び内容に基づき、単元（題材）で育成を目指す資質・能力を明確にして目標を設定しているか。
- 児童生徒の実態を把握し、学習・指導方法の改善・充実を図っているか。
- 資質・能力の育成に向けて、単元（題材）など内容や時間のまとまりを見通しながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を図っているか。
- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、より質の高い学びに向かう指導計画になっているか。
- 目標を達成するための教材・教具の取扱いや、言語活動・体験活動の設定は適切か。
- ねらいを達成した児童生徒の姿を具体的に想定した評価規準、評価方法等は適切か。
- ねらいと学習課題（めあて）、学習活動、まとめ、評価や振り返りの整合を図っているか。

授業構想のポイント



主体的な学び

- 児童生徒の興味・関心や疑問を引き出して、学習課題・めあてを設定しているか。
- ゴールの姿を示したり、児童生徒に課題解決の方法や結果の見通しをもたせたりしているか。
- 課題解決の過程や結果、自己の変容等を振り返る場面を適切に設定しているか。

深い学び

- どの場面で、どんな「見方・考え方」を働かせることにより、どのような「深い学び」の実現を目指すのかを明確にしているか。
- 単元（題材）で育む資質・能力の育成に向けて、当該教科等の特質に応じた学習活動等の充実が図られているか。

対話的な学び

- 一人一人に自分の考えをもたせてから学び合わせているか。
- 対話のねらいが明確で、目的に応じて対話の形態を工夫しているか。
- 思考を促す視点や発問を精選し、対話により自分の考えを広げ深めさせることができているか。

〔留意事項〕

- ・ 三つの視点は、相互に関わり合うものです。それぞれの視点から授業を捉え直し、一体として改善・充実が図られるようにすることが大切です。
- ・ 児童生徒の状況を踏まえながら、多様な学習活動を組み合わせて授業を組み立てることが重要です。
- ・ 主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではありません。



「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

児童生徒に求められる
資質・能力の育成

知識及び
技能

思考力、判断力、
表現力等

学びに向かう力、
人間性等